

県文化財「安房南高の旧第一校舎」 昭和初期の建築 27日公開



県立安房南高校旧第一校舎＝NPO法人「安房文化遺産フォーラム」提供

県指定有形文化財（建造物）の「県立安房南高校旧第一校舎」が27日に一般公開される。淡いピンク色の外壁が目を引く木造2階建てで、玄関を中心に左右対称の造りが特徴。昭和初期の学校建築の姿を伝える建物だ。

県教育委員会によると、前身の県立安房高等女学校の校舎が1923年の関東大震災で倒壊したため、7年後に現在の場所に移転した上で耐震構造で新築され

た。ガラス窓のダイヤ形の棧など、さりげない飾りが随所に施されている。学校は、2008年に安房高校と統合して閉校するまで女子校として続いた。

午前10時～午後3時。入場無料。ガイドツアーのほか、安房高校の書道部のパフォーマンス、吹奏楽部の演奏、美術部や写真部の作品展示などもある。問い合わせは県教委文化財課（043・223・4130）へ。
（寺崎省子）